

アスリートに学ぼう

【松江市立出雲郷小学校】

ねらい

アスリートとの交流活動を通して障がいやパラ競技への理解を深める。

いつ

令和2年11月13日（金）

どこで

松江市立出雲郷小学校 校庭・体育館

だれが

児童（5年生：83名）教職員（5名）
※講師…川上 功 氏 [マラソンランナー]

なにを

○50m 走(デモンストレーション)
○パラスポーツに関する講演

概要

- ・講師の生き方にふれ、最後までやり遂げようとする大切さに気付くとともに、目標をもって様々なことに挑戦する意欲を高める。
- ・調べ学習や講演を通して、相手に対する配慮や日常生活におけるユニバーサルデザインに気付くきっかけとする。
- ・パラリンピックの理念や価値を学ぶとともに、東京大会への興味関心を高める。



今回の学習は、総合的な学習の時間「アスリートに学ぼう」として実施しました。最初に、子どもたちは、パラスポーツのデモンストレーションとして、伴走者の声やスタッフが鳴らす音を頼りに走る講師の50m走を間近で見学しました。その後、体育館で講演を聞き、マラソンとの出会いにより走る楽しさを知り、挫折を乗り越え、挑戦し続ける川上氏の姿にふれました。「やればできる、未知の可能性、日々チャレンジ」という講師の力強い言葉に真剣に耳を傾けていました。最後に、講師から「障がいは不運であって不幸ではない。幸せは自分でつかむもの。」と子ども達にメッセージを送られました。子どもたちは講師のメッセージをしっかりと受け止め、新たな目標に向かってチャレンジし続ける講師に、積極的に質問しました。夢に向かってチャレンジする姿勢、自分であることを考え行動することの大切さを学ぶ機会となりました。